

【背景と目的】

公共施設の老朽化と更新時期の集中、人口減少による市民ニーズの変化と厳しい財政状況、東日本大震災を契機とした防災・減災への対応等、公共施設を取り巻く環境は大きく変化しています。

この日向市公共施設等総合管理計画は、公共施設を「資産」として捉え、今後の運営、維持管理、更新等に総合的かつ経営的な視点を持って取り組んでいく「公共施設マネジメント」を推進することで、公共施設の安全・安心の確保と質的・量的な最適化を図り、持続可能な行政サービスの提供や財政の健全化の実現を目的に策定するものです。

【公共施設の保有の状況】

建物系施設

項目	数量
学校施設（幼稚園、小・中学校等）	105,844.12 ㎡
教育施設（公民館、文化交流センター等）	30,611.51 ㎡
公営住宅施設（市営住宅）	91,941.21 ㎡
その他	79,144.41 ㎡
合 計	307,541.25 ㎡

インフラ施設系施設

項目		数量
道路	一般道路	実延長 586,858 m
	自転車歩行者道	実延長 10,534 m
橋りょう	実延長	5,237 m
上水道（簡易水道含む）	管延長	462,644 m
下水道（公共下水道・農業集落排水）	管延長	263,096 m

【公共施設を取り巻く現状と課題】

人口減少社会の到来

国立社会保障・人口問題研究所推計
 （2010年） （2040年）
 人口 63,227 人 51,128 人
 （約19%減少）
 日向市人口ビジョンによる人口の将来展望
 2060年 45,000人超

- 公共施設に求められる機能や市民ニーズの変化への対応、生産年齢人口の減少による税収減を考慮した公共施設の運営、維持管理、更新を検討していくことが必要です。

厳しい財政事情

歳入総額に占める自主財源は減少傾向
 合併特例期間の終了により平成28年度から普通交付税が減少
社会保障関係経費は年々増加
 2005年度 62億円 2014年度 91億円
 （約29億円増）

- 歳入の増が見込めない一方、社会保障関係経費は年々増加しており、大幅に削減することが難しいことから、経常経費や既存事業の見直しと投資的経費の抑制が求められます。

老朽化の進行と更新時期の集中

建物は1970年代代から1990年代代（昭和45年度から平成のはじめ）に整備されたものが多い
 建物の平均築年数は26.4年
急激な老朽化の進行
 60年を経過する建物系施設の割合
 2024年度 6.2% 2044年度 55.8%

- 公共施設の更新が同一時期に集中することによる多額の費用負担が懸念されます。

更新費用の推計

建物系施設 今後50年間 総額1,529億円
 インフラ系施設 今後40年間 総額 572億円
1年あたり約45億円が必要となる見込み
 直近5か年度間の更新等工事費の平均額
1年あたり約12億円（必要額の約4分の1）

- 公共施設の全てを更新することは不可能な状況であり、複合化、転用や廃止による総量の最適化が必要な状況です。

市民アンケート調査結果(主なもの)

公共施設の利用状況について

道の駅や日向サンパーク施設、公民館、文化交流センター、運動公園、図書館等の利用が多くなっていますが、その他の施設については、特定の利用者による利用がなされている可能性はあるものの、広く利用されている状況ではない結果となっています。

今後優先的に充実したらよいと思う施設について

図書館の充実を求めるものが最も多く、その他道の駅や日向サンパーク施設、運動公園、文化交流センター、健康管理センター等の保健衛生施設の充実を求めるものが多くなっています。

今後の公共施設のあり方について

「公共施設の必要性を見直し、人口、税収、市民ニーズ等に見合った数（量）まで減らすべきである」との回答が約70%と最も多くなっており、次いで「今あるすべての公共施設は必要なため、現状維持すべきである」との回答が約20%となっています。

【公共施設の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針】

計画期間 平成28年度（2016年度）～平成57年度（2045年度）までの30年間

計画の進捗管理は「日向市公共施設マネジメント推進会議」で行い、毎年度検証し、基本的に5年ごとに見直しを行います（上位・関連計画や社会情勢により適宜見直します）。

進捗状況等は情報提供と共有に努め、見直しの際は、広く市民の意見を聴取する機会を設定します。

今後の公共施設マネジメントの推進を図るため、次のとおり基本理念、基本目標（公共施設マネジメント三原則）、数値目標を定めます。

基本理念： 将来世代に負担を残さない 最適な公共施設の保有とサービスの提供

基本目標（公共施設マネジメント三原則）

安全・安心の確保

- 定期的な点検・診断を行い、適切な維持管理と耐震化に取り組みます。

総量の最適化

- 社会情勢や市民ニーズを見極めながら、公共施設の新規整備の抑制、有効活用、統合（集約、複合化、転用）、廃止を推進します。

数値目標 普通会計における建物系施設（総延床面積）の30%削減

ライフサイクルコストの縮減

- 公共施設の長寿命化を図り、維持管理方法の見直しや公民連携によるライフサイクルコストの縮減に努めます。

【公共施設の管理に関する基本的な考え方】

点検・診断・安全確保・耐震化等の実施方針	維持管理・修繕・長寿命化・更新等の実施方針
<ul style="list-style-type: none"> ➢ 日常点検や法令等に基づく定期点検の実施 ➢ 点検に係る情報の一元管理と情報の蓄積 ➢ 耐震化の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 優先順位の設定による予算の平準化 ➢ 予防保全型の維持管理への移行による長寿命化 ➢ 既存事業の見直し等による財源の確保 ➢ PPP・PFIの導入の検討 ➢ 近隣市町や国・県との連携
統合・廃止等の推進方針	体制の構築方針
<ul style="list-style-type: none"> ➢ 機能が不要と判断された施設は活用・廃止・処分 ➢ 機能が必要と判断された施設は更新等の際に集約・複合化 <p>いずれの場合も利用者等との意見交換等を実施 インフラ系施設は原則として廃止等は行わない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 全庁的な取組体制の構築 ➢ 定期的な研修会の実施 ➢ 他自治体との情報交換と情報の共有

【施設類型ごとの管理に関する基本的な方針】

建物系施設

- 学校施設
 - ・設備の改善・充実
 - ・必要に応じて統合・廃止を検討（地域住民との対話を行う等地域の実情に配慮する）
- 公営住宅施設
 - ・老朽化に伴う更新等にあわせて統合・廃止を検討（人口の推移や地域ごとの戸数等に配慮する）
 - ・日向市公営住宅長寿命化計画に基づく維持管理、更新等を実施
- その他の施設
 - ・利用実態を踏まえた運営方法の見直し等

インフラ系施設

- 道路・橋りょう
 - ・道路アセットマネジメントの推進
 - ・日向市橋梁長寿命化修繕計画に基づく長寿命化公園
- 必要に応じて公園施設長寿命化計画を策定し長寿命化
- 水道施設
 - ・水道施設アセットマネジメントの推進
 - ・水道料金の適正化
- 下水道施設
 - ・下水道施設ストックマネジメントの推進
 - ・下水道使用料の適正化